

# ゼロエミッション東京の実現に向けて

— 主要テーマの取組内容 や 支援制度のご案内 —

Zero Emission Tokyo

A Sustainable and Resilient Strategy pursuing 1.5°C

## 当冊子について

- 都は、「2050年 CO<sub>2</sub>排出実質ゼロに貢献する『ゼロエミッション東京』」を目指すべきゴールとして掲げており、実現に向けた通過点として、様々な施策で、中間目標や方向性を設定し、取組を進めています。
- この冊子は、ゼロエミッション東京の実現に向けた都の取組について、主要なテーマの考え方や方向性、補助などの支援メニューを抜粋してご紹介しています。
- 紙面の都合上、支援メニューなどについては代表的なもののみ記載していますが、記載しているもの以外にも様々な取組を展開している施策もございます。不明な点については、各問い合わせ先までご一報ください。

※ 冊子の中にモデルケースを用いて補助制度のご紹介を行っているものがありますが、こちらは制度をご理解いただくために一例を取り上げており、実際の補助金額を保障するものではありません。また、事業によっては申込状況により、受付が終了している場合があります。補助金額や申込み等の詳細については、各問い合わせ先にご相談ください。

## 目 次

■ 省エネルギー対策・再生可能エネルギーの導入拡大	2
■ ゼロエミッションビークルの普及促進	3
■ 温室効果の高いガス(フロン類)対策の推進	4
■ プラスチック削減対策	5
■ 食品ロス削減対策	6
■ 環境ムーブメントの醸成① 「チームもったいない」	7
■ 環境ムーブメントの醸成② 「東京ゼロカーボン4デイズ in 2020」と「東京2020大会のカーボンオフセット」	8
■ 暑さ対策の推進	9

# 暑さ対策の推進

## 背景

- 気候変動や都市化の影響により、過去100年の間に、世界の平均気温は約0.7℃、日本では平均気温が約1.2℃、**東京の平均気温は約3℃上昇**しています。
- 気候変動対策など都市の気温上昇を緩和する対策に加え、**人の感じる暑さを和らげる対策**にも取り組むことが重要です。

## 取組概要

- 暑さを和らげる対策として水が蒸発する際の気化熱を利用した「**打ち水**」イベントを開催し、暑さ対策の気運を醸成していきます。
- 日差しを遮るため、街路樹の樹形を大きくすることや太陽光を反射する遮熱性舗装の道路を整備しています。
- 「微細ミスト」や「フラクタル日よけ」を設置するなど、局所的に暑さを和らげる対策を実施した場所・空間を「**クールスポット**」として創出し、快適なまちの実現を目指しています。



微細ミスト



フラクタル日よけ

## 主な事業者向け支援等

### ■ 打ち水実施団体の募集

- 夏の間、都内で打ち水を実施していただける団体(企業やグループ等)を募集しています。

#### 【募集概要】

- ・ 2019年夏の間(7月～9月)に実施
- ・ 初めてご参加の団体には、バケツやひしゃくなどの「**打ち水グッズ**」を提供しています。

### ■ クールスポット創出支援事業

- 都内区市町村・事業者(法人・個人)を対象に、暑熱対応設備の整備に要する経費の一部の補助を実施しています。

#### 【補助率】

設備設置経費の原則**1/2(上限500万円)**



微細ミスト設置モデル 約 300 万円



**暑い夏でもまちなかで心地よく過ごせる環境の実現を目指しましょう！**

#### 【問い合わせ先】

- **打ち水イベント全般**：東京都環境局地球環境エネルギー一部環境都市づくり課 03-5388-3566
- **クールスポット創出支援事業**：(公財)東京都環境公社暑さ対策緊急対応センター事業推進係 03-5858-6415  
(ホームページ) <https://www.tokyokankyo.jp/jigyoo/smart-energy/heat-countermeasures>



# ゼロエミッションビークルの普及促進

## 背景

- 走行時にCO<sub>2</sub>を排出しない電気自動車(EV)や燃料電池自動車(FCV)などの**ゼロエミッションビークル(ZEV)**\*は、環境負荷の低減につながるため、普及拡大を進めることが重要です。

\* ZEV: EV、プラグインハイブリット自動車(PHV)、FCV

## 目指すべき方向性

- (車両): 「**2030年にZEVの都内乗用車新車販売割合50%**」という目標を掲げています。
- (充電器): 「都内の**充電器数を2025年に現状の2倍に**」、「都内の**急速充電器を2030年に1,000基に**」することを目指しています。

## 東京都の取組

- 都庁の率先行動として、都で使用する**乗用車を更新時に原則ZEV化するほか、都営バスへの燃料電池バスの導入や電動バイクの導入も進めるなど、様々な用途に合わせ取組を加速しています。**
- また、**充電器についても都施設への設置を進めています。**



## 主な事業者向け支援

### ■ ZEVの導入補助

- 都内すべての個人・事業者を対象に、車両購入費用の補助を実施しています。

【補助額(事業者)】 **FCV: 101万円~104万円**

**EV: 25万円、PHV: 20万円**

FCV購入モデル 約 727 万円



### ■ 電動バイクの導入補助

- 都内すべての個人・事業者を対象に、車両購入費用の補助を実施しています。

【補助率】 車両本体価格のガソリン車との差額の**3/4**

EV購入モデル 約 300 万円



### ■ 充電設備の導入補助

- 都内のマンションや事務所・工場、商業・宿泊施設等を対象に、充電器設置費用の補助を実施しています。

【補助額(普通充電)】 購入価格と国補助額の**差額(原則自己負担ゼロ)**

EVバイク購入モデル 約 22 万円



**このほかにも様々な支援を行っていますので、是非ご活用ください。まずはお問い合わせを！**

#### 【問い合わせ先】

- **ZEVの普及促進**: 東京都環境局地球環境エネルギー部次世代エネルギー推進課 03-5388-3599
- **事業者向け支援**: クール・ネット東京 都市エネ促進チーム 03-5990-5068

〈ホームページ〉 <https://www.tokyo-co2down.jp/company/subsidy/>



# 温室効果の高いガス（フロン類）対策の推進

## 背景

- フロン類は、温室効果がCO<sub>2</sub>の数百から1万倍以上にもなります。世界のフロン類排出量は年々増加傾向にあり、CO<sub>2</sub>だけでなく、フロン類についても重点的な対策が必要です。
- HFC(ハイドロフルオロカーボン)などのフロン類は、エアコンや冷蔵庫などの冷媒用途に利用されていますが、**使用時・廃棄時の適正管理等を通じた大気中への漏えい防止**に加え、より影響の少ない他の物質への**切り替えが必要**となっています。

## 目指すべき方向性

- 都は「**代替フロン(HFCs)の排出量を2030年に35%削減(2014年度比)**」という目標を掲げ取組を推進しています。

## 東京都の取組

- 都施設では、業務用冷凍空調機器について、使用時の定期点検や廃棄時のフロン類回収等を徹底するとともに、温室効果の低い**ノンフロン機器の導入**を検討するなど、フロン類の排出抑制に取り組んでいます。

## 主な事業者向け支援

### ■ 省エネ型ノンフロン機器の導入補助

- 都内の中小事業者・個人事業者を対象に、省エネ型ノンフロン冷凍冷蔵ショーケースへの補助を実施しています。

【補助率等】補助対象機器の設置経費の**1/3**(1台**500万円**まで)

※ 1事業者につき1,500万円まで支援可能です。

### ■ アドバイザー派遣

- 都内の中小企業(商店街や事業者団体単位でも受付可能です)を対象に、フロン類の対応について、管理者が何をしなければならぬのか等、法の概要や点検及び記録の方法について、**アドバイザーが現地へ伺い、ご説明**します。

【費用】**無料**

ショーケース購入モデル 約 150 万円



都補助  
50万円

ご負担  
100万円



ノンフロンショーケース



**機器の所有者が適正管理を行うことが重要です。是非ご相談ください！**

【問い合わせ先】

- **フロン対策・事業者向け支援**：東京都環境局環境改善部環境保安課フロン対策担当 03-5388-3471  
〈ホームページ〉<http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/safety/cfc/index.html>



# プラスチック削減対策

## 背景

- **プラスチック**は優れた特性があり、私たちの生活の中で広く使用されていますが、レジ袋やペットボトルなど使い捨て型のものが身近に多くみられます。
- プラスチック製品の製造から廃棄の段階でも、CO<sub>2</sub>が排出されるほか、海に流れ込むなどして、生態系に悪影響を与えることも懸念されており、プラスチックとの付き合い方を見直していくことが必要となっています。



「東京のポイ捨てが、太平洋の海ごみになっている。」(東京都作成リーフレット)より Race for Water / Christophe Launay提供

## 目指すべき方向性

- 国の「プラスチック資源循環戦略\*」を踏まえ、家庭と大規模オフィスビルから排出されるプラスチックごみを総量で15%程度削減した上で、「**2030年度までに焼却量の4割削減(2017年度比)**」を目指し、取組を強化していきます。
- \* プラスチック資源循環戦略…プラスチックごみを削減し、資源循環を総合的に推進するため、国が策定。2030年までのマイルストーンを示し、ワンウェイ(使い捨て)プラスチック(容器等)をこれまでの努力も含め累積で25%排出抑制することなどを掲げています。

## 東京都の取組

- 都では、「都庁プラスチック削減方針」の基本原則に則り、会議等でのペットボトル・ストロー等の使用削減や、再生プラ割合70%以上の文具類の購入等により、**ワンウェイプラスチックの使用削減・再生プラの利用推進**に、率先的に取り組んでいます。

### 《基本原則》

- ワンウェイプラスチックの使用削減、マイバッグ・マイボトル等の利用を推進
- プラの使用がやむを得ない場合、再生プラ、持続可能性に配慮したバイオマスプラを使用
- プラごみは、適切に分別後、次の順序で再生利用を推進 ①材料リサイクル ②ケミカルリサイクル

## ご協力のお願い

- ワンウェイプラスチック削減に向けて、各企業で実施可能な取組をご検討いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

### 《取組事例》

- 社員の皆さまへの、レジ袋辞退、マイバック・マイボトルの利用を呼び掛け
- オフィスビル内店舗におけるレジ袋削減等の取組への協力依頼 など

**身近な取組を契機に、使い捨て型のライフスタイルを見直していきましょう！**

### 【問い合わせ先】

○ **プラスチック削減対策**：東京都環境局資源循環推進部計画課 03-5388-3593

〈ホームページ〉 [http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/resource/recycle/single\\_use\\_plastics/index.html](http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/resource/recycle/single_use_plastics/index.html)



# 食品ロス削減対策

## 背景

- **食べられるのに捨てられてしまう食品(食品ロス)**が発生することは、貴重な食料資源が無駄になるだけでなく、製造から廃棄までに費やされたエネルギーも無駄になります。
- 世界中から食料を輸入する一方で、大量の食品ロスが発生している実態(都内では年間約30万トン)を一人ひとりが認識し、具体的な削減行動につなげていくことが必要となっています。

## 目指すべき方向性

- 2030年までに食品ロス半減を達成するため、「**2020年に『食品ロス削減・東京方式』の確立**」という目標を掲げ、事業者や消費者の自主的な食品ロス削減を促す取組を推進しています。

## 東京都の取組

- **都庁舎内の食堂等**において、**小盛メニューの提供**や、**3010運動**(宴会の開始30分と終了前10分は料理を楽しむ)の啓発により、食べ残しが減るよう取組を進めています。
- さらに、**規格外野菜**(大きさ・色・形などが規格に適合しない野菜で、多くが廃棄される)を活用したランチメニューの提供を試みるなど、廃棄を減らす取組も推進しています。
- また、これまでに、イベントなどを通じて累計で170万食を超える防災備蓄食品を配布し、**廃棄予定の備蓄食品について有効活用**を図っています。



## ご協力のお願い

- 食品ロスの削減に向けては、各消費者の主体的な取組が重要です。事業者の皆様におかれましては、**食品ロス削減の重要性**や**食べ切りの取組**について、**社員の皆さまに周知・啓発**などによる取組へのご協力をお願いいたします。
- また、社員食堂や売店において、提供する飲食物の量を調整可能とすること等による**食べ残しの削減**や**売り切り**、賞味期限間近の**備蓄食品の有効活用**の取組等についても、社内でご検討いただきますようお願いいたします。

**食品の消費側・提供側の両方の取組が大切です。ぜひご検討ください！**

### 【問い合わせ先】

○ **食品ロス削減対策**：東京都環境局資源循環推進部計画課資源ロス対策担当 03-5388-3474

〈ホームページ〉 [http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/resource/recycle/tokyo\\_torikumi/food\\_waste.html](http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/resource/recycle/tokyo_torikumi/food_waste.html)



# 環境ムーブメントの醸成① 「チームもったいない」

## 背景

- 一人ひとりの意識と行動が変われば、環境にやさしい社会をつくることができます。
- 幅広く様々な場面で“もったいない”に取り組んでいる、企業や団体、個人の方々に「チームもったいない」に参加いただき、一人ひとりの行動変容のきっかけをつくる取組の輪を広げています。

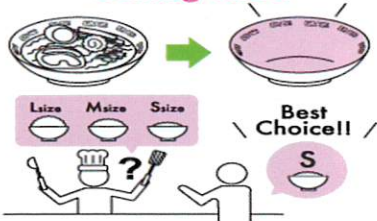


## チーム概要

- 「チームもったいない」に賛同し、取り組んでいただける方であれば、どなたでも参加できます。
- チームメンバーは、ロゴマークの使用(面倒な手続きはありません)やご自身の取組を環境局ホームページで発信できます。また、希望者に対して活動状況等に関するメールマガジンを配信しており、その中でも取組の発信が可能です。
- 取組内容は、次の3つの分野に関するものです。

### ① 食料の有効活用

#### Saving Food



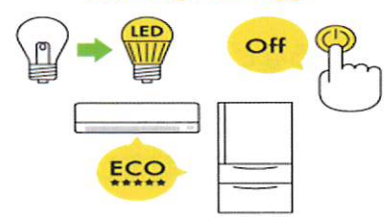
### ② 資源の有効活用

#### Saving Materials



### ③ エネルギーの有効活用

#### Saving Energy



～ 例えばこんな取組を行っている皆様、是非参加しませんか～

- ✓ 宴会で3010運動(開始30分と終了前10分は料理を楽しむ)を実施、食べきりを推奨
  - ✓ 賞味期限の近い食べ物から購入
  - ✓ コンビニのレジ袋辞退を社員へ働きかけ
  - ✓ ごみを分別して、リサイクルを徹底
  - ✓ 省エネ機器の購入や環境に配慮した物品調達の実施(グリーン購入)
  - ✓ フードバンクや子供食堂の活動へ参加
  - ✓ マイバック・マイボトル・マイ箸を社内で推奨
  - ✓ クールビズ・ウォームビズの徹底
- など

## チームへの参加のお願い

- 問い合わせ先にある、ホームページの申込フォームに必要事項を入力し、お申込み下さい。

一緒に環境にやさしいライフスタイルを広げましょう！



### 【問い合わせ先】

○ チームもったいない事務局：東京都環境局総務部環境政策課 03-5388-3426

〈ホームページ〉 [http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy\\_others/team\\_mottainai/index.html](http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy_others/team_mottainai/index.html)





## 環境ムーブメントの醸成②

# 「東京ゼロカーボン4デイズ in 2020」と「東京2020大会のカーボンオフセット」

## 背景

- ゼロエミッション東京の実現に向けた取組の一環として、都は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(東京2020大会)の開会式と閉会式の合計4日間、都内で排出される全てのCO<sub>2</sub>をゼロにする「東京ゼロカーボン4デイズ in 2020」の実現を目指しています。
- また、東京2020大会のホストシティとして、東京2020組織委員会が目指す、大会の開催に伴い発生するCO<sub>2</sub>排出量をゼロにする「東京2020大会のカーボンオフセット」に協力しています。

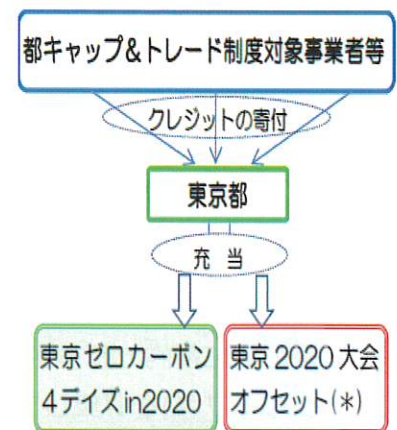
## 取組概要

### ■ 排出量をゼロにする手法

- 都は、オフィスビル等の大規模事業所を対象とする東京都キャップ&トレード制度を2010年4月から、実施しています。
- 制度の対象事業者様にはこれまでの間、省エネ努力を積み重ねて温室効果ガスの排出削減を進めていただき、その結果、**超過削減量(CO<sub>2</sub>クレジット)**が創出されています。
- これらのクレジットを都にご提供(寄付)いただき、都がカーボンオフセットの手続きを実施します。

### ■ 募集対象クレジット

東京都キャップ&トレード制度における超過削減量、都内中小クレジット(それぞれ1トンから受け付けています)



## ご協力をお願い

- 東京都キャップ&トレード制度の対象事業者等の皆様におかれましては、クレジットのご提供について、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
- **クレジットをご提供いただいた場合**
  - 寄付いただいた方全員に、**都からの「御礼状」**をお渡しさせていただきます。また、**大口寄付者の方には「感謝状」も交付**いたします。(交付時期及び方法等は、別途お知らせいたします)
  - 東京都環境局ホームページで提供事業者名を公表するとともに、寄付いただいた事業者様のホームページ等でも、「東京都の取組に協力した」旨、公表いただけます。(公表できる内容が限定的ですので、必ずホームページでご確認ください)

### 【問い合わせ先】

○東京都環境局地球環境エネルギー一部総量削減課  
「総量削減義務と排出量取引制度」相談窓口 03-5388-3438

詳しい案内は

[ZC4D2020](#)



で検索

# 暑さ対策の推進

## 背景

- 気候変動や都市化の影響により、過去100年の間に、世界の平均気温は約0.7℃、日本では平均気温が約1.2℃、**東京の平均気温は約3℃上昇**しています。
- 気候変動対策など都市の気温上昇を緩和する対策に加え、**人の感じる暑さを和らげる対策**にも取り組むことが重要です。

## 取組概要

- 暑さを和らげる対策として水が蒸発する際の気化熱を利用した「**打ち水**」イベントを開催し、暑さ対策の気運を醸成していきます。
- 日差しを遮るため、街路樹の樹形を大きくすることや太陽光を反射する遮熱性舗装の道路を整備しています。
- 「微細ミスト」や「フラクタル日よけ」を設置するなど、局所的に暑さを和らげる対策を実施した場所・空間を「**クールスポット**」として創出し、快適なまちの実現を目指しています。



微細ミスト



フラクタル日よけ

## 主な事業者向け支援等

### ■ 打ち水実施団体の募集

- 夏の間で都内で打ち水を実施していただける団体(企業やグループ等)を募集しています。

【募集概要】

- ・ 2019年夏の間(7月~9月)に実施
- ・ 初めてご参加の団体には、バケツやひしゃくなどの「打ち水グッズ」を提供しています。

### ■ クールスポット創出支援事業

- 都内区市町村・事業者(法人・個人)を対象に、暑熱対応設備の整備に要する経費の一部の補助を実施しています。

【補助率】

設備設置経費の原則1/2(上限500万円)



微細ミスト設置モデル 約 300 万円



都補助  
150万円

ご負担  
150万円

**暑い夏でもまちなかで心地よく過ごせる環境の実現を目指しましょう！**

【問い合わせ先】

- 打ち水イベント全般：東京都環境局地球環境エネルギー部環境都市づくり課 03-5388-3566
- クールスポット創出支援事業：(公財)東京都環境公社暑さ対策緊急対応センター事業推進係 03-5858-6415  
(ホームページ) <https://www.tokyokankyo.jp/jigyosmart-energy/heat-countermeasures>



令和元年 7月 発行

環境資料第31046号

ゼロエミッション東京の実現に向けて  
－ 主要テーマの取組内容や支援制度のご案内 －

編集・発行

東京都環境局総務部環境政策課  
〒163-8001  
新宿区西新宿二丁目8番1号  
電話 03-5388-3429  
株式会社イマイシ

印刷



リサイクル適性<sup>®</sup>(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。



HPもご用意しておりますので、ぜひご利用ください！

[http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy\\_others/zeroemission\\_tokyo/index.html](http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy_others/zeroemission_tokyo/index.html)

